

富山国際大学 URL <http://www.tuins.ac.jp/> 富山国際大学付属高等学校 URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>
富山短期大学 URL <http://www.toyama-c.ac.jp/> 富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <http://www.fsinet.or.jp/~midorino/>

●学校法人富山国際学園
〒930-0193 富山市願海寺水口444
TEL / 076-436-5139
FAX / 076-436-5444

富山国際学園の第3世代 - 新しい飛躍へ

(1) 世代の変遷一社会と共に：昭和38年、富山女子短期大学が富山県私立高等教育機関第1号として開学。翌年、付属高校を併設し、学園「第1世代」が始まりました。付属みどり野幼稚園も参加。そして平成2年、「人間形成」の理念を掲げて富山国際大学が開学し、「第2世代」へ。高校は共学制・富山国際大学付属高校と改称。短大は社会状況を見すえて生活科学科、文学科を募集停止。一方、北陸で初めて福祉学科を新設し、平成12年、男女共学制富山短期大学として決然と出発しました。

(2) 教育界は少子化の中、試練の荒海：大学は全国最初の地域学部を新設し、人文学部は人文社会学部へと改組。私はやむなく学長兼務を決意。激動する社会はさらに学園の改革を要求する中、再び大学の改組・再編を決断。平成20年、2学部は募集停止し、その両機能を融合させた現代社会学部が出発しました。さらに21年、短大が多年蓄積した教育資源を活用・発展させるべく子ども育成学部の新設計画を決定。こうして21世紀を生き抜く「学園の第3世代」が始まっています。

(3) 富山国際大学の上記2新学部は、「大学の再編」と「短大の発展」を総合的に組合せ、学園全体の教育力を格段に強化することを基本コンセプトとしました。田中學長の下、具体的には教養重視から実務指向への教育理念の転換であり、2学部の融合はグローバル社会への対応策です。地域社会（観光立県）に役立つべく観光専攻も新設。学生の多様化に対し、担任制、キャリア支援講座、国際交流センター等、従来弱かった教育的工夫を強化します。教職員一体の努力により、さいわいこの4月、「大へん久しぶりに」定員を確保。第1ラウンドは「イーヴン」で経過し、戦いはこれから。まさに大学・教職員の真価が問われています。

(4) 短大は開学45年、地域社会の教育に比類なく貢献してきました。(a)19年度、文科省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に応募し、「地域をキャンパスとした人間力向上の取組」が選定され、全国私立短大399校中、僅か11校。本学の教育活動が全国最高レベルにあることが証明されたと思います。学内に「ボランティア・地

域活動センター」を設置し、3月に地域フォーラムも開催し盛会でした。(b)懸案だった短大基準協会・第三者評価を昨年受け、3月に首尾よく「適格」の認定。総合評価：「明確な建学の精神、教育理念を有し、この理念の下に具体的な教育目標を学科ごとに掲げ、時代の進展や社会ニーズに対応しながら、地域に密着し貢献する短大としての大きな地位を確立している」。多年にわたる自己点検・評価委員会を中心とする全教職員の努力の結実で、学長として感謝します（名刺に適格マークを印刷します）。

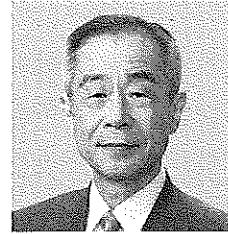
(5) 短大も厳しい学生確保競争の中。(a)福祉学科は開設12年を経て、卒業生は1,000人を超える、高齢化社会でめざましく活動中。(b)学生諸君が各種コンクールに入賞し、学長賞多数。(c)子ども育成学部の校舎建設が吳羽キャンパス内なので、短大・高校にかかる多くの問題発生が必至です。ぜひ全学園教職員の皆さんとの理解と協力をお願いします。(d)19年度の短大webページのブログへのアクセス件数は45万件（1日1,000件以上）。新聞掲載記事約200件。全学挙げての旺盛な情報発信努力の成果です。

(6) 付属高校の教育力向上は、SELHi活動（2期目指定は全国で10校のみ）に象徴される。国際英語コース31名中英検準一級5名、2級20名、準2級5名の合格者。これらを核とし、全校一段とパワーアップして下さい。

(7) みどり野幼稚園は、開園30周年記念式典を行い記念誌を発行。「父親の会」の活動はNHKテレビで全国放送されました。15年ぶりに地元自治会の春祭り・お獅子を桜吹雪の下に招き、地域活動も賑やかです。

(8) 社会福祉法人・富山国際学園福祉会にながわ保育園は、3年目の卒園式を挙行。地元・保護者の方々の富山短大への信頼は厚く、順調に活動しています。

(9) 富山国際学園・教職員の皆さん。我々の第3世代「新しい飛躍へ」向け、社会と地域の、そして私達自身の「幸せ」を、力を合わせて共に追求しようではありませんか。



富山国際学園理事長
金岡祐一

CONTENTS

- 富山国際学園の第3世代 - 新しい飛躍へ
富山国際学園理事長 金岡 祐一 1
- 特集1
「生まれ変わる富山国際大学の戦略」
富山国際大学学長 田中忠治 2
- 子ども育成学部の開設準備について 3
子ども育成学部開設準備室長 宮田伸朗

□ 特集2

「ますます活気溢れる

- 吳羽キャンパス 4
- 平成20年度入試状況・平成19年度進路状況 5
- 学園退職者一覧・新任者一覧 5
- 平成20年度予算概要 6
- 学園NEWS 7

生まれ変わる富山国際大学の戦略

富山国際大学学長 田 中 忠 治



平成20年度、富山国際大学は大幅な改組・再編に踏み切った。これまでの国際教養学部並びに地域学部の学生募集を停止し、新たに現代社会学部を東黒牧キャンパスに設置した。そして一年遅れで、子ども育成学部を富山短期大学の呉羽キャンパスに設置の予定である。二つのキャンパスに分かれた二学部に生まれ変わることになった。

このような改革に踏み切った最大の理由は、ここ数年来、学生定員の確保が困難になってきていることにある。少子高齢化の進展にともなう就学人口の減少と大学数の増加により、特に、地方の歴史の浅い小規模大学は、いずれもこのような状況下に置かれている。このような状況を、いかに突破して大学を存続せしめるか、各大学は必死で戦っている。本学も、遅ればせながら、この戦いに参戦することになった。そして、参戦にあたってとった戦略が、(1)時代の趨勢への対応、(2)社会的ニーズへの適応、(3)教育の質的転換という三つの理念をもっての大学の改組・再編である。

(1) 先ず、時代の趨勢への対応である。今日、われわれの生活は世界と直結するようになり、いわゆるグローバリゼーション（国際化）の波の中にある。その一方で、地方の自立、地方分権が叫ばれ、ローカリゼーション（地域化）が進んでいる。これを合わせたグローカルな時代が現代社会である。このような時代に対応するためには、国際と地域の双方向でのものを見、考えることができる見識が必要となる。これまで国際教養学部と地域学部の二学部に分けて行ってきた国際と地域の教育を一体化することで、それが修得できると考えた。現代社会を生きるために見識を修得する学部という意味を込めて、両学部を統合して現代社会学部を設置した。両学部の教育理念は、現代社会学部の学部共通科目（地域づくり科目、国際交流科目、外国語科目）として引き継がれている。

もう一つの時代の趨勢は、少子高齢化である。これへの対応として考えたのが、子ども育成学部の設置で

ある。富山短期大学が長い歴史を通じて培ってきた子ども育成のノウハウを生かして、次世代を担う優れた人材の育成を図ることにした。

(2) 次は、社会的ニーズへの適応である。就学人口が減少し、大学数が増えて、大学は全入時代に入っている。学生が多様化し、社会に出て直ぐ役立つ知識や資格の取得を求める、つまり実学志向の学生が増えた。その一方、就職先である企業も、即戦力を求める傾向を強めており、今や社会の大学教育への期待は、実務、実学であり、それが社会的ニーズになってきた。本学は、人文学部の一学部で出発し、建学以来、人文学を中心とした教養教育を重視し、専門（実学）教育を軽視してきたきらいがあった。いうまでもなく、大学教育は、教養と専門の両面の教育を使命としており、いずれに重点を置いて教育するかということになるが、社会的ニーズへの適応を考えれば、専門教育へ重点を移行せざるを得ない状況になったと判断した。

現代社会学部に現代社会学科を置き、三つの専攻、すなわち観光専攻、環境デザイン専攻、経営情報専攻を設けて、専門教育の充実を図り、また実務基礎科目、資格支援科目等を置いて、即戦力として役立つ人材の育成を重視するなど、教養教育から専門教育への移行を鮮明に打ち出した。また、一年遅れて出発する子ども育成学部は、資格取得を基本にしている学部であり、実学志向の社会的ニーズへの適応には問題がない。子ども育成学科を置き、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、社会福祉士（受験資格）等の複数資格が取得できるようにする予定である。

(3) 最後は教育の質的転換である。全入時代になって、高校卒業生の54%が大学へ進学するようになり、学生は多様化している。勉学意欲が薄く、学習目的もはっきりしない学生が増加傾向にある。学生の多様化への対応として、現代社会学部では、入り口と出口で、新たなる制度を設けた。入り口では、アカデミック・アドバイザー制度とキャリア・デザイン講座を設けた。アカデミック・アドバイザーというのは、高校の担任にあたるもので、学生と個人的に接触して、学習計画や一身上の問題について助言を与え、さらに学生の履修上の諸問題に対応し、保証人との連絡等を行うなどを主要職務としている。キャリア・デザイン講座というのは、初年次教育に相当するもので、大学卒業後の

生活設計、就職問題を入学時から考えてもらい、学習の動機付けと就職への意欲向上をねらっての講座である。出口では、キャリア支援講座を設定して、自己（能力、人格、身体）確認の支援、キャリア情報の提供、キャリアに関する体験（インターンシップ等）の提供、キャリア・教育課程の構造を行うこととしている。大学における学習計画の相談やキャリアの開発支援は、従来、大学職員のサービス業務であって、教育に含まれるものではなかった。しかし、今日、大学における教育も、サービスとして質的に転換せざるを得なくなっている。これまで知識の供給者としての大学が主役であった時代が終わり、今や、需用者（顧客＝

学生）が主役になって、大学は、その需用者（顧客）に選ばれ、愛されるようにサービスをしなければならない時代になっているのである。

以上、改組、再編にあたっての戦略を述べてきた。これらの戦略が成功すれば、学生定員の確保は達成できると確信している。また、富山国際大学の命運は、これら戦略の成否にかかっていると言っても過言ではない。これら戦略を成功に導くのは、本学教職員の皆さんの力の結集以外にはない。力を合わせて頑張りましょう。

子ども育成学部の開設準備について

子ども育成学部開設準備室長 宮田 伸朗

もの発達と相談支援」「富山の子ども育成」に関する科目などが、配置されます。

教育課程全体を通して、①「発達主体の連続性」と「発達と環境の相互作用」統合の視点、②実習を重視した効果的な実践的専門教育、③特色ある富山の保育・教育・地域活動に学ぶ教育などを特色としています。

○新校舎の建設

付属高校の第二体育館跡地に、鉄筋コンクリート造り7階建ての新校舎が予定されています。短大の幼稚教育学科もその一部を共用し、教育研究面でも両大学の特色を生かした相乗的効果が期待されます。

○申請事務手続きなど

関係省庁への書類提出・審査などが順調に進めば、年内には認可・指定される見通しです。

子ども育成学部は、「大学と短大の新しい協働」の象徴であります。全学園的なご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成21年4月開設をめざして、子ども育成学部の開設準備が進められています。文部科学省、厚生労働省などへの申請事務と並んで、新校舎の建設も呉羽キャンパスで始まろうとしています。その概要は、次のとおりです。

○学部の概要

乳幼児～児童期の保育・教育は、人間形成の基礎づくりであり、将来の国や社会の担い手の育成でもあります。子ども育成学部は、心身ともに健やかな子どもの育成をとおして地域社会に貢献する人材の養成を目的としています。

入学定員は80名（編入学定員5名）、卒業時には小学校・幼稚園教諭の一種免許状、保育士資格、社会福祉士受験資格などが取得できます。

教員組織は、大学、短大をはじめ、県内外の一線の実践研究者などにより編成される予定です。

○教育課程の特色

「教養科目」には、「現代の教養・コミュニケーションと情報・体育・演習」に関する科目が、「専門科目」には、「子ども育成の理論と実践」「子ど

区分	ねらい	授業科目（例）
教養科目	現代社会を生きる主体的な生活者として、また子ども育成を担う専門職業人として必要な、幅広い知識と教養を身につける	人間と文学、人間と情報、英語、プレゼンテーション、教養演習など
専門科目	子ども育成の理論と実践 子どもの生活と発達、教育に関する専門知識及び子ども育成の実践力を身につける	子ども育成論、教育原理、教育課程論、教育方法論、社会科教育法、保育所実習、施設実習、幼稚園教育実習、小学校教育実習など
科 目	子どもの発達と環境の関係、相談支援のあり方、子ども育成における家庭・地域との連携の必要性について理解する	発達心理学、子ども文化、子どもと情報メディア、生徒指導論、相談援助実習、児童福祉論、福祉教育論、社会福祉調査論など
富山の子ども育成	地元富山の特色ある保育・教育・地域活動への参加体験を通して、地域の実践に学び、子ども育成における地域連携の重要性について理解する	地域社会参加活動、富山の保育・教育特別講義、富山の福祉特別講義など
子ども育成の研究	4年間の学びの集大成として、レポートの作成や発表を行うことを通じて、生涯につながる自己研鑽と研究的态度を養う	卒業研究



ますます活気溢れる呉羽キャンパス

短大：学生支援GP選定 －地域をキャンパスとした 人間力向上の取組－

本報No21で理事長は、短大が学生支援GPに選定されたことについて、「平成15年の特色GPにいち早く福



祉学科が採択されたことに続いて、2本目の満墨ホームラン！今回は学生部を中心としつつも全学的取組みが必須で、重い実行責任が生じました」と述べています。また、この取組みの内容については、同報の号外で報告されています。

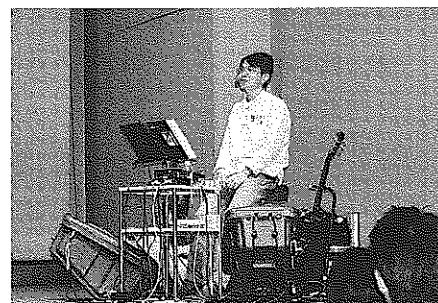
本学では、選定後に全教職員の参加のもと、取組内容の説明を行って共通認識を図り、学生に対しては、共通理解を得るための説明会を学科ごとに実施しました。そして、昨年の11月に「ボランティア・地域活動センター」の開設式を行い、今年の1月には、地域の有識者にも委員として参画していただき、「ボランティア・地域活動センター運営委員会」を開催しました。学外委員からは、「地域と連携して事業を成功させ、息の長い活動にしなければならない」など、多くの貴重な提言がありました。

また、ネットワークづくりを形成するため、地域の施設や関係諸団体を訪問して、地域ニーズを把握することや、地元の自治会に出向いて本取組みの説明会を行いました。3月には地元呉羽・射水地区や福祉関係者を中心に約230名が参加して、学生による実践報告、記念講演、シンポジウムを内容とする「地域フォーラム」を開催し、本学の社会的使命である地域貢献の新しい取組みを説明する機会としました。

本取組みについては、文科省主催の横浜に於けるGP合同フォーラムや、名古屋での意見交換会で発表しましたが、他の高等教育機関の関心度は大変高いものがありました。現在、県内の数団体から本取組みに対する具体的な提案がきています。本取組みの大きな特徴である「Webボランティア手帳」システムは4月から本格的に運用しましたが、学生の「人間力向上」に向け、全学が一丸となって「地域に密着して、地域に貢献する」活動を積極的に実践し、本学のさらなる活性化をめざしています。

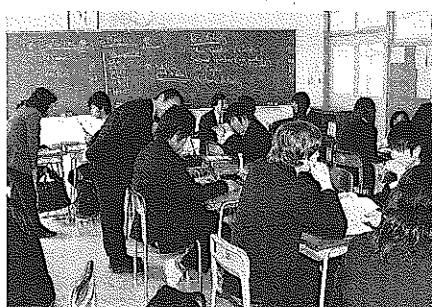
高校：SELHi 2期目 スーパー英語高校の面目躍如 特色ある講座や授業を公開

SELHi（スーパー・イングッシュ・ランゲージ・ハイスクール：文科省英語教育改革研究校）2期目に指定され一段と熱が入った英語学習。1期目に引き続き、国際理解講座はいっそう充実して好評を博しています。平成19年度は、4月の第1回、青年海外協力隊の国際貢献の講話に始まり、10月には、パレスチナ・ガザ地区のラファでNPO団体で支援活動をしている寺畑さんから、「報道されない素顔」を聞き、ニュースを身边に感じました。12月には、「地球のステージ・パート3」で医師桑山紀彦さんの世界の紛争地域や災害地域での医療活動の映像と音楽による語りに深い感銘を受けました。



一方、日本文化の理解を深める講座や、観光学についても学ぶなど、国際交流を進めるために幅広い教養を得ることとをめざしました。2月の第12回には、「ラオスの子供たちに絵本を送ろう」で、本年度の国際理解講座が好評のうちに終了しました。

また、2月19日には、文部科学省から、SELHiの視察があり、1年生の国際英語、特進、フロンティアの全クラスで研究授業が実施され、発信型英語力を身につけるためのプロジェクト中心学習の方向性がおおむね評価されました。今後の英語力レベルアップが楽しみであり、付属高校あげて、特色ある教育実践の取り組みをさらに進めたいと考えています。



平成20年度 入試状況

大学

(平成20年3月31日現在) 単位:人

学部	募集人員	志願者	受験者	合格者
現代社会	120	215	214	187
計	120	215	214	187

高校

(平成20年4月8日現在) 単位:人

コース・クラス	募集人員	出願者	受験者	入学者
国際英語留学特進 コース 英語特進	1クラス	44	44	12
特進コース		117	116	16
フロンティアコース	5クラス	315	315	22
計	7クラス	896	895	191

短大

(平成20年3月31日現在) 単位:人

学科	募集人員	志願者	受験者	合格者
食物栄養	80	142	140	106
幼児教育	80	148	147	115
経営情報	90	175	173	118
福祉	80	62	60	74
食物栄養専攻	15	15	15	14
計	345	542	535	427

幼稚園

(平成20年4月1日現在) 単位:人

	新入園児	在園児	計	男	女
3歳児	26	—	26	12	14
4歳児	3	33	36	22	14
5歳児	0	36	36	16	20
計	29	69	98	50	48

※福祉学科の合格者数には、第二志望合格者を含む。

平成19年度 進路状況

大学

(平成20年3月31日現在) 単位:人

学部	学生数	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
国際教養	50	46	46	100.0	2
地域	87	77	76	98.7	4
計	137	123	122	99.2	6

短大

(平成20年3月31日現在) 単位:人

学科	学生数	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
食物栄養	90	71	71	100.0	13
幼児教育	101	99	99	100.0	0
経営情報	117	106	103	97.2	6
福祉	75	70	70	100.0	5
食物栄養専攻	7	7	7	100.0	0
計	390	353	350	99.2	24

高校

(平成20年3月31日現在) 単位:人

大学	入学者	合格者	短大	入学者	合格者	その他	入学者	合格者	卒業生
富山国際大学	11	17	富山短期大学	29	30	専修・各種学校	34	36	185
国公立大学	4	8	国公立短大	1	2	就職	24	24	
他の私立大学	60	107	他の私立短大	10	13	その他	11		
海外の大学	1	1							
計	76	133	計	40	45	計	69	71	

◆退職者一覧(平成20年3月31日付)

<大学> 西田 達昭(国際教養学部教授)

笹倉 修治(総務企画部参事)

<短大> 陶 智子(経営情報学科准教授)

河越美和子(福祉学科准教授)

山口 悅子(福祉学科准教授)

◆新任者一覧(平成20年4月1日付)

<大学> 高橋 光幸(現代社会学部教授)

斎藤 敏子(現代社会学部准教授)

<短大> 松居紀久子(福祉学科講師)

平成20年度 予算概要

■大学改組再編重点の予算編成

平成20年度予算は、去る3月26日に開催された評議員会・理事会において承認されました。

今年度予算の大きな特徴は、大学の改組再編及び新学部校舎建設事業への大幅投資予算となったことです。大学の新学部増設は、計画の一年延期を余儀なくされました。今年度の認可に向けて、鋭意推進しているところです。今回の改組再編は、18才人口の最後の踊り場と言われる今後10年間を占う意味でも、本学園にとって極めて重要な事業であると言えます。

主な予算の概要は、次のとおりです。

消費収支予算において、消費収入の部では帰属収入合計が2,194百万円（対前年度当初予算比35百万円減・1.6%減）となり、これから基本金組入額を差し引いた消費収入合計が782百万円（同975百万円減・55.5%減）となっています。消費支出の部では、消費支出合計が

2,610百万円（同21百万円減・0.8%減）となっています。この結果、消費支出超過額（いわゆる赤字額）は、1,828百万円（同953百万円減・109.2%減）となり、前年度繰越消費支出超過額528百万円に、平成19年度の赤字額1,828百万円を加えた2,356百万円が翌年度繰越消費支出超過額（累積赤字）となっています。

大学改組再編にかかる経費の増大を除いても、大幅な赤字予算となる大きな要因のひとつは、学園の収入の約75%を占めている学生生徒納付金が対前年度比で約60百万円もの大幅減となっていることがあげられます。私学は少子高齢化時代・大学全入時代を迎え、今までにない厳しい環境下に置かれています。その中にあって、本学園（特に大学及び高校）は、慢性的な定員割れ状態から脱却し、消費収支の均衡をめざすためには、学生生徒の安定的な定員確保が絶対条件であり、今後の更なる努力が必要不可欠となっています。

また、本学園は総体的に外部資金の獲得に消極的であると言えます。各種補助金や各種競争的資金については、傾斜配分されるようになっており、その獲得に向けてはもっと貪欲に積極的になる必要があります。

資金収支予算書

平成20年4月1日から

平成21年3月31日まで

(単位：千円)

	平成20年度 予算額	平成19年度 当初予算額	差 異
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	1,632,404	1,691,948
	手数料収入	35,240	33,763
	寄付金収入	1,506	1,506
	補助金収入	404,128	394,279
	資産運用収入	33,460	33,620
	資産売却収入	1	1
	事業収入	18,883	13,424
	雑収入	68,489	60,996
	借入金等収入	2,840	0
	前受金収入	460,411	469,502
	その他の収入	1,613,974	835,587
	資金収入調整勘定	-432,802	-499,081
支 出 の 部	前年度繰越支払資金	699,000	779,000
	収入の部合計	4,537,534	3,814,545
	人件費支出	1,642,709	1,603,635
	教育研究経費支出	530,436	521,363
	管理経費支出	140,438	134,395
	借入金等利息支出	7,059	8,378
	借入金等返済支出	30,330	27,660
	施設関係支出	1,092,859	564,522
	設備関係支出	259,909	74,793
	資産運用支出	63,510	91,799
	その他の支出	95,284	92,500
	(予備費)	15,500	15,500
支 出 の 部	資金支出調整勘定	-640,500	-91,000
	次年度繰越支払資金	1,300,000	771,000
	支出の部合計	4,537,534	3,814,545

消費収支予算書

平成20年4月1日から

平成21年3月31日まで

(単位：千円)

	平成20年度 予算額	平成19年度 当初予算額	差 異
消費 収 入 の 部	学生生徒等納付金	1,632,404	1,691,948
	手数料	35,240	33,763
	寄付金	1,510	1,510
	補助金	404,128	394,279
	資産運用収入	33,460	33,620
	資産売却差額	1	1
	事業収入	18,883	13,424
	雑収入	68,489	60,996
	帰属収入合計	2,194,115	2,229,541
	基本金組入額	-1,411,438	-471,685
	消費収入の部合計	782,577	1,757,856
	人件費	1,655,709	1,616,635
消費 支 出 の 部	教育研究経費	782,036	777,463
	管理経費	143,228	138,155
	借入金等利息	7,059	8,378
	資産処分差額	6,900	75,500
	(予備費)	15,500	15,500
	消費支出の部合計	2,610,432	2,631,631
	当年度消費支出超過額	-1,827,755	-873,775
	前年度繰越消費支出超過額	-528,792	222,829
	翌年度繰越消費支出超過額	-2,356,547	-650,946
	支出し合計	4,537,534	3,814,545

一方で収入減の状態にありながら、退職金を含む人件費、教育研究経費及び管理経費が全て対前年度比で増額となっていることは、教育の質の向上をめざす上ではやむを得ない点があるとしても、予算執行に際しては、常にコスト意識を持って各事業に取り組まなければなりません。

資金収支予算において、平成20年度予算を資金の流れでみると、収入額は平成21年度入学生の前受金や平成20年度末の未収入金の見込額、平成19年度からの繰越見込額を加えると、収入合計は4,537百万円（同722百万円増・19.0%増）となっています。

一方、支出額は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等利息支出、借入金等返済支出、施設・設備関係支出等に、翌年度への繰越支払資金を加えて4,537百万円（同722百万円増・19.0%増）となる見込みです。

学校別消費収支予算をみると、今まで黒字を確保してきた短大を含む、全ての部門で赤字予算編成となってしまっており、厳しさが顕著となっています。特に大学・高校においては、学生生徒数を確保できず、収支の悪化

平成20年度部門別消費収支予算書

(単位：千円)

部 門 科 目		法 人	大 学	短 大	高 校	幼 稚 園	総 額
収入の部	学生生徒等納付金	0	575,682	759,800	270,471	26,451	1,632,404
	手数料	3,600	8,455	17,400	5,750	35	35,240
	寄付金	2	1,502	3	2	1	1,510
	補助金	0	49,019	136,118	202,991	16,000	404,128
	資産運用収入	30,020	790	2,500	150	0	33,460
	資産売却差額	0	0	1	0	0	1
	事業収入	0	9,270	1	4,000	5,612	18,883
支出の部	雑収入	500	2,835	65,104	50	0	68,489
	帰属収入合計(A)	34,122	847,553	980,927	483,414	48,099	2,194,115
支出の部	人件費	23,503	616,967	635,202	343,675	36,362	1,655,709
	教育研究経費	1,946	353,719	247,641	161,303	17,427	782,036
	管理経費	28,541	57,534	42,603	13,771	779	143,228
	借入金等利息	0	3,787	1,072	2,200	0	7,059
	資産処分差額	0	700	5,700	400	100	6,900
	予備費	2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500
基本 基 本 金 組 入 額	消費支出合計(B)	55,990	1,037,707	937,218	524,349	55,168	2,610,432
	第1号基本金	1,167,777	25,908	139,439	28,287	17	1,361,428
基 本 金 組 入 額	第2号基本金	0	0	50,000	0	0	50,000
	第3号基本金	10	0	0	0	0	10
	第4号基本金	0	0	0	0	0	0
	基本金組入額合計(C)	1,167,787	25,908	189,439	28,287	17	1,411,438
当年度消費収入支出超過額(D)=(A)-(B)-(C)		△1,189,655	△416,062	△145,730	△69,222	△7,086	△1,827,755
前年度繰越消費支出超過額(E)		-	-	-	-	-	△528,792
翌年度繰越消費支出超過額(D)+(E)		-	-	-	-	-	△2,356,547

に歯止めがかかっていません。また、定員を確保している短大においても、老朽化した校舎の修繕等の課題を抱えています。学生生徒の安定的確保により、いかに学園の財政基盤を確保するかが、今、学園の最重要課題となっています。



富山国際大学

●アカデミック・アドバイザー（助言教員）制度の導入

平成20年度より現代社会学部として新たなスタートを切った富山国際大学では、アカデミック・アドバイザー制度が導入されました。1・2年次の教養演習を担当するアドバイザーは高校までの担任に相当するもので、講義ノートのとり方、レジュメやレポートの作成法、プレゼンテーションの仕方、新聞の読み方などの学習面の指導にあたるだけでなく、履修登録、奨学金の受け方、海外留学・国内留学、対人関係の問題など、学生が大学生活を送る上での問題全般にわたる相談も行います。特に高校生活との違いに戸惑いがちな新入生の皆さんのが大学生活をスタートさせる際に、アドバイザーは心強い存在になりますので、気軽に相談してほしいと思っています。

富山短期大学



● 第三者評価「適格」認定

富山短期大学は、平成19年7月～9月に、認証評価機関である財団法人短期大学基準協会の第三者評価（書面審査及び現地訪問審査）を受審し、平成20年3月19日付けを以て、本学は「教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、短期大学基準協会が定める短期大学評価基準を充たしている」と判断され、適格と認定されました。総評では、「時代の進展や社会的ニーズに対応しながら、地域に密着し貢献する短期大学として大きな地位を確立している」「富山短期大学の教育は充分な内容を有し、充分な効果を上げている」と高く評価されました。なお、平成19年度第三者評価「適格認定証」の贈呈式は、平成20年5月12日(月)東京のアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて執り行われました。

富山国際大学付属高校

● 吹奏楽部第17回演奏会、バトン部と華やかに共演 付属高校文化部合同発表会開かれる

平成20年4月5日(土)県教育文化会館で、吹奏楽部の第17回演奏会と、文化部の合同発表会が開かれました。

吹奏楽部の定期演奏会は、7年ぶりの開催で、O.B.、O.G.の協力の下、バトン部、放送部、新聞部との合同発表会というように付高文化の粹を集め、レベルの高い内容でした。

第1部のクラシカル・ステージ、第2部のポピュラーステージ、第3部のショウ・ステージとそれぞれに趣向を凝らした華やかなステージで、観客席と一体となった楽しい演奏が繰り広げられ、次回への期待が高まりました。



みどり野幼稚園

● 獅子舞がきたよ

園では、地域との交流をはかり、子どもたちが伝統芸能にふれる機会として、昨年度より願海寺野々上地区獅子舞保存会にお願いし、園での獅子舞を楽しんでいます。

平成20年4月12日(土)、園児とその家族300名ほどが集まり、満開の桜の下で勇壮な獅子舞が披露されました。笛や太鼓のお囃子にあわせて舞うお獅子に子どもたちは大喜び。保存会の中には、卒園した方や園児の保護者もおられ、とても和やかな雰囲気の中、集まった園児の家族同士の交流も行われて、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

